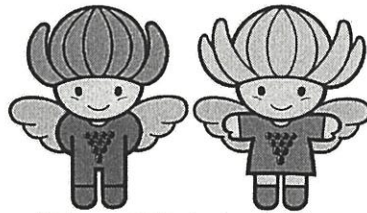


平成27年度

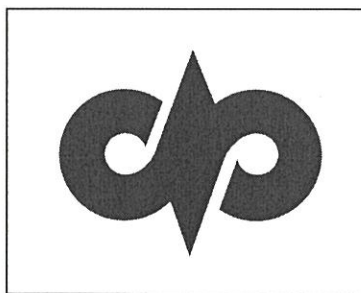
# 議会要覧



菊とぶどうといで湯の里・南陽

# Nanyo

南陽市議会事務局



この市章は南陽市の「ナ」を紋章化し、市民の団結と融和を図り市の限らない発展を象徴したものです。

(昭和42年4月1日制定)

## 南陽市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と太陽に恵まれた南陽の市民です。

南陽市は、北に丘陵、南に沃野、すぐれた伝統と歴史をもった未来あるまちです。

わたくしたちは、このまちの市民であることに誇りをもち、より豊かな住みよいまちを築くために、力をあわせ、進んでこの憲章をまもります。

1. 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくります。
1. 心とからだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. きまりを守り、たすけあって楽しいまちをつくります。
1. 働くことに誇りをもち、豊かなまちをつくります。
1. 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

(昭和51年5月1日制定)

# 目 次

地 勢・沿 革	1
I 市 の 概 要	3
II 議 会	
1. 議員の構成	4
2. 議員名簿	5
3. 議会の構成	6
4. 議会の運営	8
5. 印刷物	8
6. 特別職報酬	9
7. 旅費・調査費・その他	9
8. 歴代議長	10
9. 歴代副議長	10
10. 歴代事務局長	11
11. 議会事務局	11
III 議会活動状況	
1. 議会開催状況	12
2. 議案提出状況	13
3. 議案・議決状況	14
4. 請願処理状況	14
5. 一般質問者数	14
6. 傍聴者数	14
7. 一般質問	15
8. 議員発議状況	17
9. 請願審査結果	18
10. 各常任委員会等行政視察状況	19
11. 行政視察来市状況	20
IV 行 財 政	
1. 南陽市行政機構図	21
2. 歴代市長	23
3. 歴代助役・副市長	23
4. 歴代収入役	23
5. 平成27年度議会費予算	24
6. 平成27年度一般会計予算	25
7. 平成27年度一般会計・特別会計・企業会計予算	27
8. 平成27年度一般会計歳出予算（性質別予算）	28

## 地勢・沿革

南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地に位置し、北部は山地で南に沃野が開け気候にも恵まれており、米、野菜、果樹などの栽培に適している。

また、風光明媚な県南県立自然公園や赤湯温泉など、豊富な観光資源を有する地理的条件に恵まれ、鉄道道路交通網にも恵まれた県南地方の要衝の地にある。

市内の長岡丘陵からは、約1万数千年位前（旧石器時代）の石器が発見されており、既にこの頃には人間が住んでいたと考えられ、この当時の人口は、今の南陽市地域では、おそらく10人とか20人位であったと考えられる。

土器を使うようになった縄文時代（約12,000～2,000年位前）の遺跡は、須刈田の大野平遺跡や宮内の久保遺跡など市内に70カ所以上あり、当時の住居跡や土器（生活用具）石器（生産、狩り、信仰の用具）など数多く発見されている。

今から約2,000年位前（弥生時代）になると、菰生田出土の石包丁（石製の穂つみ具）が示すとおり、この地方にも稲作文化が伝わった。

農業生産力が高まった次の古墳時代（4～8世紀）には、はじめに長岡の稲荷森古墳（全長96mの前方後円墳、国指定史跡）、その後に上野や二色根地区の小型の古墳がつくられた。

奈良時代、平安時代（8～12世紀）には、政治や行政の仕組みも大分整い、市内郡山地区には当時の郡役所があったと考えられている。

また、宮内の熊野大社や、赤湯の薬師寺の創建も9世紀ごろと伝えられているように、仏教文化が栄えるとともに、文字、税など、今の生活の原形がつくられた時代である。

武家政治の鎌倉時代（1192年～）には、幕府は大江時広を当地方（長井荘）の地頭に任じ、以後八代もその支配は続いた。

また、このころからこのあたりを北条郷と呼んでいたことが古文書からうかがい知ることができる。

14世紀、室町時代になると、天授6年（1380年）、伊達氏の支配に変わる。これらの時代の仏教信仰の深さは、竹原の「正元元年大日板碑」（県内最古、県指定）他、数多い板碑などによりしのばれる。

戦国時代にかけての伊達氏の支配は、宗遠から独眼竜として知られる政宗が岩出山に移封されるまで211年間も続いた。

のち、蒲生氏が7年間支配、1598年から明治維新にいたるまで上杉氏の支配となる。この時代に市内各地の特色が生まれた。



明治2年、版籍奉還とともに上杉茂憲が藩知事に任ぜられたが、地方は従来どおり代官制であった。

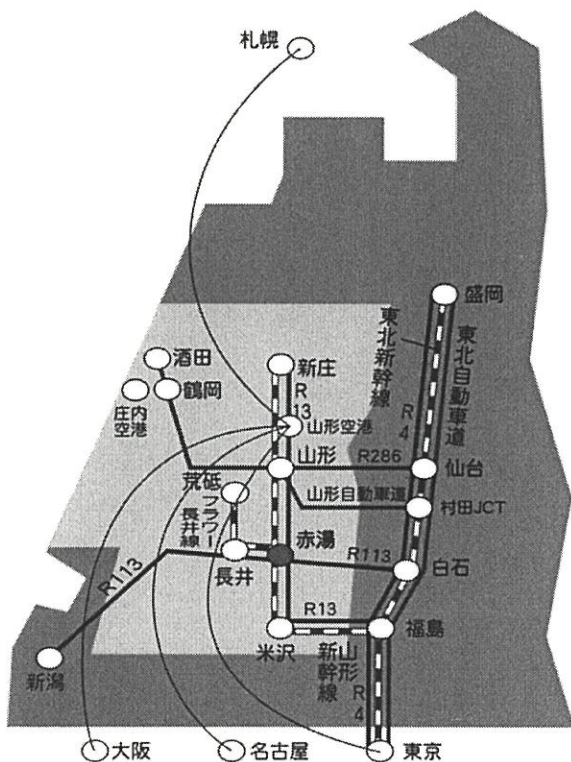
明治4年7月廃藩置県によって米沢県に、同年11月置賜県と改められるとともに五郡制を廃し27区小区に分割、明治6年28区小区に分けた。

昭和30年、宮内町、漆山村、吉野村、金山村が合併し宮内町、沖郷村と梨郷村が合併し和郷村、赤湯町と中川村が合併し赤湯町となった。

昭和42年4月1日、宮内町、赤湯町、和郷村の2町1村が合併し、山形県下13番目の市、南陽市が発足した。

新市名については、当時の県知事安孫子藤吉氏が名づけ親となり、「南陽の菊水」から「北に丘陵・南に沃野、まことに住みよいところ」の字義をもって「南陽市」と命名された。

### ●アクセスマップ●



**熊野大社** 南陽市宮内地区にある熊野大社は、日本三熊野に数えられています。毎年7月下旬には1200年近くも続いている例大祭が開催されます。24日の「宵祭り」には「チゴタゴ」(稚児舞・舞楽)が舞殿で奏される他、祭りの期間中、箱ばよい、獅子ばよい、梵天ばよい、御輿下り等々、様々な行事が行われます。

#### ■車をご利用の方

東京——(東北自動車道 約4時間)——福島飯坂IC——(国道13号 約1時間)——南陽市

新潟——(国道113号 約2時間40分)——南陽市

仙台——(東北自動車道 約40分)山形蔵王IC——(国道13号 約50分)——南陽市

仙台——(東北自動車道 約25分)白石IC——(国道113号 約1時間20分)——南陽市

#### ■列車をご利用の方

東京——(山形新幹線 約2時間30分)——南陽市(赤湯駅)

#### ■飛行機をご利用の方

東京(羽田)——(約1時間)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

名古屋——(約1時間5分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

大阪(伊丹)——(約1時間20分)——山形空港——(国道13号 約1時間10分)——南陽市

# I 市の概要

1. 市制施行 昭和42年4月1日
2. 人口 32,730人 (男15,674人・女17,056人)  
世帯数 11,145世帯  
(平成27年4月1日現在)
3. 面積 160.70Km<sup>2</sup>

土地利用状況 (地目別面積) (単位: Km<sup>2</sup>)

田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
20.00	14.16	8.57	0.19	83.14	0.46	3.83	4.55	25.80	160.70

平成26年1月1日現在

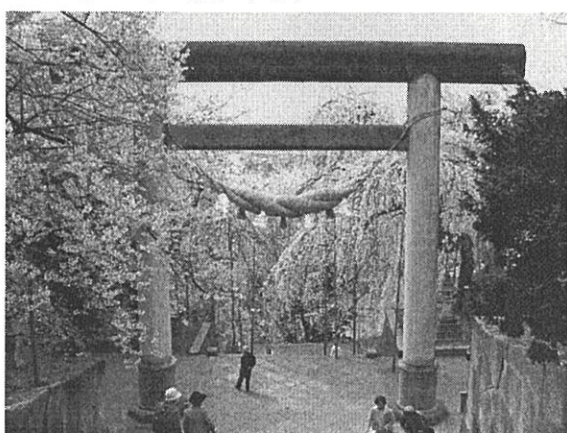
## 4. 産業別就業者数

年次 産業	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	19,423	100%	18,886	100%	18,089	100%	16,344	100%
第1次	2,909	15.0	2,561	13.6	2,234	12.3	1,840	11.3
第2次	7,362	37.9	6,919	36.6	6,055	33.5	5,217	31.9
第3次	9,148	47.1	9,405	49.8	9,734	53.8	9,123	55.8
分類不能	4	0	1	0	66	0.4	164	1.0

(国勢調査より)

## 5. 都市形態 平地農村都市

## 6. 市の木 (さくら)



日本古来から愛され、春を象徴する花として市民のだれもが親しみ、心のよりどころとしてきた樹木で、昭和62年4月1日、市の木として制定。

## 市の花 (きく)



伝統ある“南陽の菊まつり”にちなみ、市の花としてふさわしく、昭和62年4月1日、市の花として制定。

◎ 赤湯温泉桜まつり

◎ 菊まつり



## Ⅱ 議 会

### 1. 議員の構成

#### (1) 議員数

条 例 定 数	17人	
現 員 数	17人	(平成24年の一般選挙より)

#### (2) 任 期

現 議 員	平成24年4月1日～平成28年3月31日
正 副 議 長	議員申し合わせにより2年(再任妨げない)
常 任 委 員 会	委員会条例第3条により2年
議 会 運 営 委 員 会	常任委員の任期に準用

#### (3) 党派別議員

(平成27年4月1日現在)

党 派 別	人 員	会 派 別	人 員
公 明 党	1	政 風 会	5
日 本 共 産 党	1	希 望	4
無 所 属	15	保 守 ・ 公 明 ク ラ ブ	3
		倫 政 会	3
		会 派 に 所 属 し て い な い 議 員	2
計	17	計	17

#### (4) 年齢別議員数

(平成27年4月1日現在)

年齢 (歳)	～40	41 ～45	46 ～49	50 ～55	56 ～59	60 ～65	66 ～69	70～	計
人員	0	0	0	0	2	9	4	2	17

・最低年齢56歳 ・最高年齢75歳 ・平均年齢64.7歳

#### (5) 当選回数別議員数

(平成27年4月1日現在)

回数	1	2	3	4	5	6	7	計
人員	4	6	3	1	0	0	3	17

## 2. 議員名簿

議 長 遠 藤 榮 吉      副 議 長 高 橋 篤

議 席 順

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

NO	議員氏名	生年月日	年齢	住 所	電 話	所属政党	当選
1	高 橋 一 司	S25.02.24	65	南陽市二色根7-29	43-2426	無所属	1
2	高 橋 一 郎	S31.01.07	59	南陽市柵塚587-10	43-2559	無所属	1
3	舩 山 利 美	S29.02.22	61	南陽市梨郷1298-2	47-7672	無所属	1
4	山 口 正 雄	S23.11.02	66	南陽市宮内2421-16	47-3740	無所属	1
5	白 鳥 雅 巳	S30.02.17	60	南陽市三間通609-1	40-3750	公明党	2
6	片 平 志 朗	S27.07.31	62	南陽市宮内2992-1	47-4828	無所属	2
7	吉 田 美 枝	S27.07.14	62	南陽市宮内349-43	47-3990	無所属	2
8	梅 川 信 治	S24.07.29	65	南陽市三間通1222-9	43-3651	無所属	2
9	川 合 猛	S22.01.25	68	南陽市川樋2745-内2	49-2648	無所属	2
10	高 橋 弘	S21.10.17	68	南陽市下荻353-1	41-2207	無所属	2
11	板 垣 致江子	S27.04.03	62	南陽市蒲生田1370-3	47-4521	無所属	3
12	高 橋 篤	S27.01.16	63	南陽市蒲生田867	47-2508	無所属	3
13	田 中 貞 一	S26.01.26	64	南陽市鍋田885-2	43-5466	無所属	3
14	遠 藤 榮 吉	S33.08.25	56	南陽市宮内386	47-2861	無所属	4
15	佐 藤 明	S20.09.25	69	南陽市二色根79-4	43-6199	日本共産党	7
16	伊 藤 俊 美	S16.02.10	74	南陽市金山5566-4	59-5225	無所属	7
17	殿 岡 和 郎	S14.10.02	75	南陽市荻830	41-2440	無所属	7



### 3. 議会の構成

#### (1) 常任委員会

委員会	定数 (人)	現員 (人)	所 管 事 項
総 務	5	5	総務課、みらい戦略課、財政課、税務課、総合防災課、会計課、選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
文教厚生	6	6	福祉課、すこやか子育て課、市民課及び教育委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
産業建設	6	6	商工観光課、農林課、建設課、上下水道課及び農業委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。

#### (2) 委員会名簿

(平成27年4月1日現在)

総務常任委員会(5)		文教厚生常任委員会(6)	
委員長	白鳥雅巳	委員長	吉田美枝
副委員長	山口正雄	副委員長	舩山利美
委員	板垣致江子	委員	高橋一郎
委員	田中貞一	委員	梅川信治
委員	佐藤明	委員	遠藤榮吉
		委員	伊藤俊美

産業建設常任委員会(6)			
委員長	川合 猛	副委員長	片平志朗
委員	高橋一司	委員	高橋 弘
委員	高橋 篤	委員	殿岡和郎

議会運営委員会(6)		議会報編集委員会(6)	
委員長	梅川信治	委員長	高橋一郎
副委員長	川合猛	副委員長	船山利美
委員	白鳥雅巳	委員	高橋一司
委員	高橋弘	委員	山口正雄
委員	板垣致江子	委員	片平志朗
委員	伊藤俊美	委員	板垣致江子

● 置賜広域行政事務組合議会議員

◎遠藤 榮吉 ◎川合 猛 ◎高橋 弘

● 置賜広域病院組合議会議員

◎遠藤 榮吉 ◎高橋 篤 ◎殿岡 和郎

● 監査委員 ◎高橋 弘

● 農業委員 ◎船山 利美

● 会派会長 ◎政風会 高橋 弘 ◎希望川合 猛  
◎保守・公明クラブ 白鳥 雅巳 ◎倫政会 梅川 信治

(3) 特別委員会

委員会名	設置年月日	構成	設置目的
予算特別委員会		議長を除く全議員 16人	一般会計、特別会計、企業会計とも予算案の審査を行う。
決算特別委員会		議長と議会選出の 監査委員を除く全 議員15人	一般会計、特別会計、企業会計とも9月定例会で決算案の審査を行う。

(4) 議員全員協議会

市政及び議会全般に係る事項に関し協議又は調整を行う。

(5) 会派会長会

各会派間の意見の調整、連絡又は諸協議を行う。

#### 4. 議会の運営

##### (1) 議会運営委員会

- ・委員数…………… 6人
- ・構成…………… 会派の所属議員数での按分
- ・開催時期…………… 原則、議会開会3日前に開催する。(土日及び祝日の時は前日開催)

##### (2) 一般質問

- ・通告書提出期限…………… 議運開催日2日前の正午まで。(受付は通告書提出期限の1週間前からとする。)ただし3月定例会については、議運開催日の午前10時までとする。
- ・質問通告書の記載内容…………… 質問要旨はできるだけ詳細に記載し、確答を得られるよう配慮するものとする。
- ・質問方式及び時間…………… 一問一答方式で、初回のみ登壇し、一括質問一括答弁とする。また、時間は質疑答弁合計50分以内とする。
- ・発言の順序…………… 通告受付順とする。

##### (3) 予算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも予算特別委員会に付託し審査する。

##### (4) 決算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも9月定例会で決算特別委員会に付託し審査する。

##### (5) 請願

- ・提出期限は、議運開催日2日前の正午とし、それ以降に提出されたものは、次の定例会で審査する。
- ・請願文書表は、全文記載する。

##### (6) 陳情・要望

- ・陳情書、要望書についてはコピーしたものを配布のみとする。

#### 5. 印刷物

##### (1) 会議録

- ・業者に委託 ・ A4判 横2段組 ・ 70部作成 ・ 予算960千円

##### (2) 議会報

- ・年4回 定例会毎に発行(臨時号発行もある)
- ・11,500部発行(地区長を通じて市内全世帯に配布)・予算962千円
- ・編集は、常任委員会毎に選出された議会報編集委員6人によるものとする。



6. 特別職報酬及び給料

(単位：円)

職名	元年4.1改正	2.4.1改正	4.4.1改正	6.6.1改正	9.4.1改正	18.9.21改正	27.4.1改正
議長	340,000	360,000	400,000	425,000	435,000		
副議長	305,000	322,000	355,000	375,000	385,000		
議員	285,000	300,000	330,000	350,000	360,000		
市長	700,000	770,000	850,000	900,000	920,000	① (460,000)	③ (828,000)
副市長 (H19.4.1～)	535,000	580,000	640,000	680,000	695,000	① (347,500)	
収入役	460,000	500,000	540,000	580,000	595,000	H18.10.1～ 廃止	
教育長 (給料)	440,000	470,000	510,000	540,000	550,000	② 18.12.21改正 (385,000)	

※①市長・副市長の( )は減額時の報酬額。H18.9.1～H22.7.29まで50%を減額。

②教育長の( )は減額時の給料額。H18.12.1～H22.7.29まで30%を減額。

③市長( )は減額時の報酬額。H27.4.1～H30.7.29まで10%を減額。

区分	期 末 手 当		
	6 月	1 2 月	計
支給割合	$\frac{145}{100}$	$\frac{155}{100}$	$\frac{300}{100}$
加算割合	$\frac{140}{100}$		

※26.11.21改正

7. 旅費・調査費・その他

☆ 調査旅費

・ 常任委員会	1人年額	120,000円
・ 議会運営委員会	〃	120,000円
・ 議会報編集委員会	〃	70,000円

☆ 補助金

- ・ 政務活動費 1人月額10,000円を年度当初にまとめて会派に交付

☆ 費用弁償

区分	日当(1日)	宿泊料(1夜)	車賃(1km)
議長・市長	3,000円	14,800円	37円
副議長・副市長	2,700円	13,100円	
議員	2,600円		

☆ 交際費 ・ 議会 800千円 ・ 市 1,200千円



8. 歴代議長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日
初代	長嶋松五郎	M. 37. 11. 10	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	長島総兵衛	M. 43. 4. 30	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	青木清信	M. 43. 3. 3	49. 4. 8	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 2. 4
4	小川宮次	M. 35. 11. 28	53. 2. 8	53. 4. 3
〃	〃	〃	53. 4. 3	55. 3. 31
5	山口五三郎	T. 8. 3. 28	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
〃	〃	〃	59. 4. 6	61. 4. 2
〃	〃	〃	61. 4. 2	63. 3. 31
6	高橋吉美	T. 14. 11. 7	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
〃	〃	〃	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
〃	〃	〃	4. 4. 7	6. 4. 5
7	荒井幸昭	S. 15. 6. 23	6. 4. 5	8. 3. 31
〃	〃	〃	8. 4. 5	10. 4. 6
8	渡部敬	S. 6. 8. 3	10. 4. 6	12. 3. 31
9	小林啓市	S. 11. 9. 12	12. 4. 7	14. 4. 5
10	栗原晴峰	S. 22. 4. 14	14. 4. 5	16. 3. 31
11	塩田秀雄	S. 27. 12. 11	16. 4. 7	18. 4. 7
12	小野健一郎	S. 18. 9. 3	18. 4. 7	20. 3. 31
13	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
14	遠藤榮吉	S. 33. 8. 25	24. 4. 4	26. 4. 4
〃	〃	〃	26. 4. 4	在職中

9. 歴代副議長

代位	氏名	生年月日	就任月日	退任月日
初代	船山新助	M. 31. 8. 8	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	遠藤東平	T. 5. 11. 7	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	須貝庄作	M. 41. 12. 16	49. 4. 8	50. 4. 4
4	佐藤忠三郎	M. 42. 10. 17	50. 5. 13	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 4. 3
5	小林富市	M. 42. 1. 20	53. 4. 3	55. 3. 31
6	武田三郎	S. 4. 8. 22	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
7	高野真雄	T. 4. 11. 20	59. 4. 6	61. 4. 2
8	高橋吉美	T. 14. 11. 7	61. 4. 2	63. 3. 31
9	加藤馨	S. 6. 10. 20	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
10	嶋貫幸男	S. 3. 3. 15	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
11	大坂正十四	T. 14. 9. 22	4. 4. 7	6. 4. 5
12	岩井一敏	S. 16. 1. 27	6. 4. 5	8. 3. 31
13	渡部敬	S. 6. 8. 3	8. 4. 5	10. 4. 6
14	五十嵐諒	S. 22. 2. 13	10. 4. 6	12. 3. 31
15	殿岡和郎	S. 14. 10. 2	12. 4. 7	14. 4. 5
16	小野田貞一	S. 5. 2. 24	14. 4. 5	16. 3. 31
17	伊藤俊美	S. 16. 2. 10	16. 4. 7	18. 4. 7
18	鈴木英昭	S. 17. 9. 14	18. 4. 7	20. 3. 31
19	桑原仁	S. 23. 2. 05	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
20	田中貞一	S. 26. 1. 26	24. 4. 4	26. 4. 4
21	高橋篤	S. 27. 1. 16	26. 4. 4	在職中

10. 歴代事務局長

代位	氏名	就任月日	退任月日	摘要
初代	山田 貞雄	S.42. 4. 1	S.47. 3. 31	
2	阿部 内蔵之助	47. 4. 1	52. 3. 31	
3	清水 辰雄	52. 4. 1	54. 3. 31	
4	斎藤 武	54. 4. 1	61. 3. 31	
5	竹田 光雄	61. 4. 1	62. 5. 31	
6	志藤 和光	62. 6. 1	H. 1. 3. 31	
7	笹木 明夫	H. 1. 4. 1	4. 3. 31	
8	桑原 弘	4. 3. 31	6. 3. 31	
9	平 宮雄	6. 4. 1	8. 3. 31	
10	清水 勝美	8. 4. 1	10. 3. 31	
11	長岡 昭広	10. 4. 1	15. 3. 31	
12	鈴木 勝	15. 4. 1	17. 3. 31	
13	樋口 一志	17. 4. 1	18. 3. 31	
14	佐藤 正昌	18. 4. 1	20. 3. 31	
15	須藤 公一	20. 4. 1	22. 3. 31	
16	斉藤 彰助	22. 4. 1	24. 3. 31	
17	中條 晴雄	24. 4. 1	25. 3. 31	
18	大沼 豊広	25. 4. 1	26. 12. 31	
19	尾形 真人	27. 1. 1	在職中	

11. 議会事務局

(1) 構成及び人員

【定数6人】

【現員数4人】



● 職員数

(平成27年4月1日現在)

	市長 部局	議会	教委	農委	選挙	監査	公営	合計
定数	271	6	87	8	3	3	23	401
職員数	201	4	57	4	2	2	19	289

(2) 議会棟の現況

昭和57年4月25日竣工

● 議会棟面積等

議席	30席	議長・副議長室	36.5 m <sup>2</sup>
執行部席	30席	議長公室	71.5 m <sup>2</sup>
速記者席	2席	議員控室(1室)	113.0 m <sup>2</sup>
一般傍聴席	41席	議員全員協議会室	109.5 m <sup>2</sup>
記者席	5席	委員会室(2室)	74.0 m <sup>2</sup>
事務室	39.8 m <sup>2</sup>	図書室	39.0 m <sup>2</sup>
議場	217.5 m <sup>2</sup>	モニタ一室	12.5 m <sup>2</sup>
		傍聴席	61.5 m <sup>2</sup>

### Ⅲ 議会活動状況(平成26年分)

#### 1. 議会開催状況

区分	会期日程	会期日数	本会議日数	議案件数			決議態様						本会議時間数	
				市長提案	議員提案	計	可決	同意	認定	承認	撤回	その他		
定例会	3月	3月 3日 ～20日	18	4	47	1	48	45	2				1	6:54
	6月	6月 6日 ～20日	15	4	9	1	10	4	3		1		2	6:21
	9月	9月 1日 ～19日	19	4	20	4	24	12	2	9			1	9:23
	12月	12月 5日 ～19日	15	3	15	1	16	14	1		1			5:21
	小 計		67	15	91	7	98	75	8	9	2		4	27:59
臨時会	1回	4月 4日	1	1	1	5	6		1				5	1:48
	2回	4月21日	1	1	8		8	4			1		3	0:46
	3回	8月 4日	1	1	5	1	6	3			3			0:50
	4回	11月21日	1	1	8		8	7			1			0:33
	小 計		4	4	22	6	28	14	1		5		8	3:57
合 計		71	19	113	13	126	89	9	9	7		12	31:56	



2. 議案提出状況

区 分		議 決 事 件										
		条 例	予 算	決 算	意 見 書	決 議	専決処分		同 意	契 約	そ の 他	合 計
							条例	予算				
定 例 会	3月	28	15						2		3	48
	6月		2		1			1	3		3	10
	9月	1	6	9	4				2		2	24
	12月	6	5		1			1	1	1	1	16
	小計	35	28	9	6			2	8		10	98
臨 時 会	1回								1		5	6
	2回	3						1		1	3	8
	3回		2					3			1	6
	4回	2	5					1				8
	小計	5	7					5	1		10	28
合 計		40	35	9	6			7	9		20	126



### 3. 議案・議決状況

#### (1) 市長提出付議事件数

区	分	原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	件数合計
地方自治法第96条1項議決事件	条 例(1号)	40						40
	予 算(2号)	35						35
	決 算(3号)	9						9
	4号から14号までの議案	4						4
専 決 処 分 案 件		7						7
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他すべての議案		18						18
合 計		113						113

#### (2) 議員提出付議事件数

区 分	原案可決	修正可決	否 決	継続審議	審議未了 撤 回 そ の 他	合 計
条 例						
規 則						
意 見 書	6					6
決 議						
そ の 他	1				6	7
合 計	7				6	13

### 4. 請願処理状況

採 択	不採択	翌年へ繰越	取り下げ	審議未了	受案件数
8	1				9

### 5. 一般質問者数

3月定例会 (2日)	6月定例会 (2日)	9月定例会 (2日)	12月定例会 (1日)	合 計 (7日)
5人	6人	10人	5人	26人

### 6. 傍聴者数

(報道関係者除く)

3 月 定例会	6 月 定例会	9 月 定例会	12 月 定例会	臨時会	委員会	合 計
15 人	16 人	25 人	45 人	1 人	4 人	106 人

7. 一般質問

3月定例会

質 問 者	質 問 事 項
高 橋 弘	1. 市政全般 2. 災害に強いまちづくり 3. 環境に優しい循環型社会
白 岩 孝 夫	1. 施政方針全般について
佐 藤 明	1. 消費税増税による使用料・利用料の値上げについて 2. 福祉灯油について
片 平 志 朗	1. 森林産業の基盤整備について 2. 自治体基本条例の制定について
高 橋 一 郎	1. 新文化会館建設工事について 2. 新文化会館の運営について

6月定例会

質 問 者	質 問 事 項
船 山 利 美	1. 農地の集積・集約化を推進する「農地中間管理機構」の取組について 2. 鳥獣害対策について
高 橋 一 郎	1. 新文化会館の維持管理及び運営費用の財源について 2. 職員数の適正配置について 3. 駅伝と職員について 4. ふるさと納税について
佐 藤 明	1. 「医療・介護総合法案」について
白 鳥 雅 巳	1. 止まらない人口減少をどの様な施策で最小限に留めるかについて 2. 地域包括ケアの観点からの施策について
板 垣 致江子	1. 教育について 2. 市民の安全・安心について
山 口 正 雄	1. 株式会社ハイジアパーク南陽の経営について

9月定例会

質問者	質問事項
吉田美枝	1. 災害に強い安全・安心なまちづくりについて
片平志朗	1. 7月9日豪雨災害の検証と今後の防災対策強化に向けて 2. 食物のロス削減と堆肥活用について
川合猛	1. 新文化会館について 2. 少子化対策について 3. 市の教育について
山口正雄	1. 市政運営について
高橋一郎	1. 災害対策について 2. 南陽市の将来計画について
田中貞一	1. 市長の基本姿勢について 2. 人口減少歯止め政策について 3. 地場産業の振興と企業誘致政策について 4. お年寄りや障がいをもたれている方達の足の確保政策について 5. 除雪政策について 6. ハイジアパークを子供の屋内遊び場にすると言われたが、具体的にどのような構想なのかお聞き致します。
白鳥雅巳	1. 本市の各地域を結んでいる巡回バス運行について (高齢者福祉の観点から) 2. 災害に関する今後の取り組みについて 3. 子育て支援について
板垣致江子	1. 市政運営について
高橋一司	1. 消防団員の待遇改善について 2. 第2防災センターの設置について
佐藤明	1. 災害対策について 2. 副市長の選任はいつご提案されるのか。 3. 南陽市では昭和59年9月27日「非核、平和宣言」を決議、議会も昭和63年9月2日南陽市非核、平和都市宣言を議決しました。市も議会も宣言してから30年近くなろうとしています。この間映画の上映、平和コンサート、非核「平和の夕べ」等々を開催してきました。米沢市では次代を担う生徒たちを毎年沖縄、広島、長崎の各県に順次生徒たちを派遣しております。市としても来年は戦後70年という節目の年でもあり、これを期に派遣してはどうか市長のご見解を。



1 2月定例会

質 問 者	質 問 事 項
船 山 利 美	1. 26年産米の米価下落による地域経済の懸念と6次産業化推進について 2. 鳥獣害対策について
高 橋 一 郎	1. 新文化会館について 2. 南陽市の新たな広告戦略について
梅 川 信 治	1. 7月の集中豪雨災害時の対応について 2. 自主防災組織の充実について 3. 公共下水道（吉野川雨水幹線）について 4. 吉野川・織機川等の災害復旧工事について
片 平 志 朗	1. 高齢者の見守り事業の充実を求む 2. 中学校武道正課をもっと幅広く
佐 藤 明	1. 来年度予算編成と重要課題について

8. 議員発議状況及び審査結果

区 分	発議番号	件 名	審査結果
6月定例会	第1号	少人数学級の推進及び義務教育費国庫負担制度の改善を求める意見書の提出について	原案可決
第3回臨時会	第2号	災害対策特別委員会の設置について	原案可決
9月定例会	第3号	手話言語法（仮称）制定を求める意見書の提出について	原案可決
	第4号	雇用の安定を求める意見書の提出について	原案可決
	第5号	「農政改革」の再検討と緊急の過剰米処理を求める意見書の提出について	原案可決
	第6号	米価下落歯止め等に関する意見書の提出について	原案可決
1 2月定例会	第7号	集団的自衛権の行使に反対する意見書提出について	原案可決

9. 請願審査結果

番 号 (付託 委員会)	件 名	請 願 者	議 決 年月日	結 果
第1号 (産業建設)	防災工事等に関する請願	7組地区長 鈴木 栄次	26. 3.20	採 択
第2号 (総務)	特定秘密の保護に関する法律の 廃止を求める請願	東置賜地区平和運動 推進労働組合センタ ー支部 南陽地区協 議会 議長 小松 武美	26. 3.20	不採択
第3号 (産業建設)	南陽市農業振興対策に関する 請願	山形おきたま農業協 同組合 経営管理委員会会長 木村 敏和	26. 3.20	採 択
第4号 (産業建設)	雇用の安定を求める請願	日本労働組合総連合 会置賜地域協議会(連 合置賜) 議長 齋藤 貴裕	26. 6.20 26. 9.19	継続審査 採 択
第5号 (文教厚生)	少人数学級の推進及び義務教育 費国庫負担制度の改善に係る意 見書提出方請願	山形県教職員組合置 賜地区支部 支部長 小松 正義	26. 6.20	採 択
第6号 (文教厚生)	手話言語法制定を求める意見書 の提出を求める請願書	一般社団法人山形県 聴覚障害者協会 会長 小野 義邦	26. 9.19	採 択
第7号 (産業建設)	「農政改革」の再検討と緊急の 過剰米処理を求める請願	南陽市農民連 会長 竹田 久一	26. 9.19	採 択

番 号 (付 託 委員会)	件 名	請 願 者	議 決 年月日	結 果
第 8 号 (産業建設)	米価下落等に関する意見書提出 方請願	山形おきたま農業協 同組合経営管理委員 会 会長 木村 敏和 農政対策本部 本部長 木村 敏和	26. 9.19	採 択
第 9 号 (総務)	集团的自衛権の行使に反対する 意見書提出について	南陽市九条の会 会長代行 渡部 洋 治	26.12.19	採 択

10. 各常任委員会等行政視察状況

委 員 会 名	視 察 地	視 察 事 項
文教厚生常任委員会 6月30日～7月2日	鳥取県 日南町	1. 子育てしやすい町 保育料の負担軽減について 2. 空き校舎の再利用について
	島根県 安来市	1. 結婚活動支援事業について 2. 視覚的告知システムについて
	島根県 出雲市	1. 「出雲ドーム」の概要・運営等について
総務常任委員会 7月1日～3日	兵庫県加西市	1. 第三セクター北条鉄道の現状と課題について
	京都府南丹市	1. オンデマンドバスの現状と課題について
産業建設常任委員会 7月22日～24日	北海道千歳市	1. 6次産業の取り組みについて
	北海道下川町	1. 下川町バイオマス都市構想について 2. 木質原料製造施設等関連施設視察
議会報編集委員会 10月29日～30日	埼玉県寄居町	1. 議会だよりの編集、発行、全般について



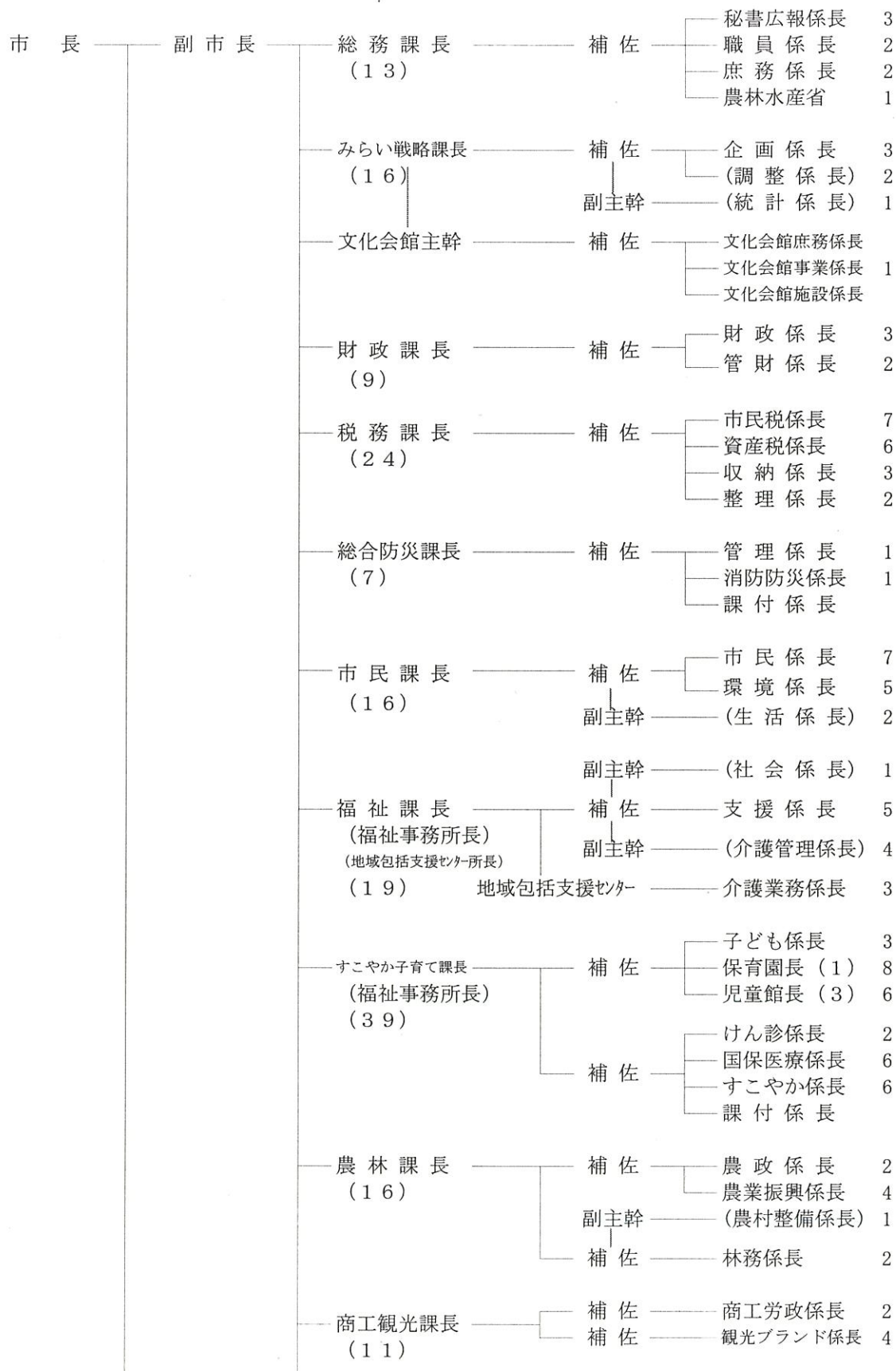
委員会名	視察地	視察事項
議会運営委員会 2月9日～10日	東京都千代田区	1. 地域の経済構造改革について(地域創生) 2. 地域密着型企業の創業支援による地域雇用の創出について

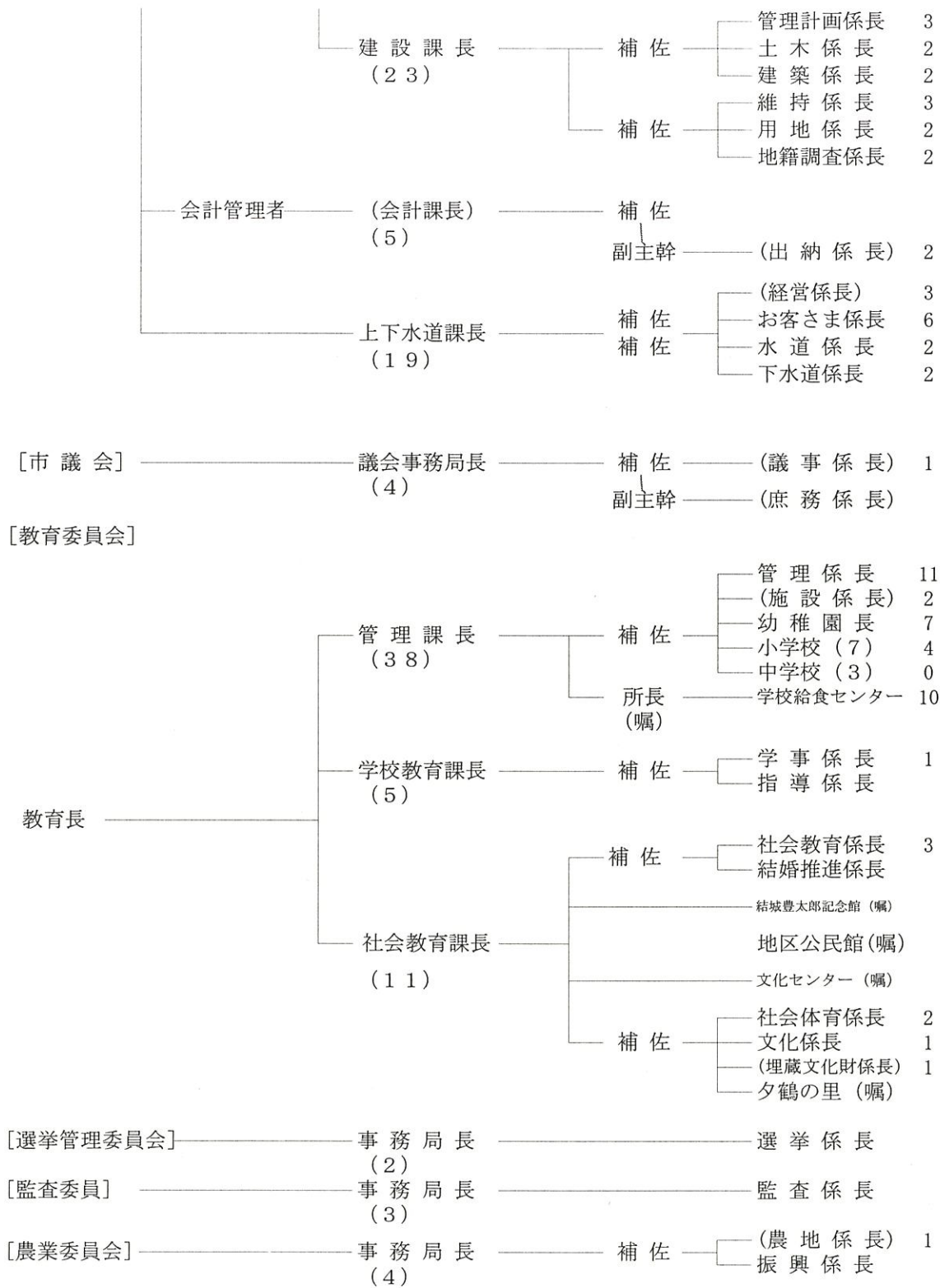
1 1. 行政視察来市状況

月日	議会名	調査事項	人数 (内随行)
5月13日	香川県さぬき市	1. 企業の森づくり事業について	5(0)
5月22日	山形県村山市	1. 双松公園について	7(2)
7月17日	富山県滑川市	1. ブランド推進について	10(1)
9月11日	山形県村山市	1. 南陽市新文化会館について	3(0)
10月1日	沖縄県糸満市	1. 結婚推進室の取り組みについて 2. アレルギー対応の学校給食について	8(1)
10月8日	愛媛県伊予市	1. 南陽ブランド推進について	5(1)
10月9日	埼玉県蓮田市	1. 南陽ブランド推進について	8(2)
11月13日	新潟県阿賀町	1. 婚活事業の取り組みについて	10(2)

南陽市組織機構図

平成27年4月1日





※職名 ( ) 書きについては、兼務職。右端の数値については役職以外の職員数。



## 2. 歴代市長

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日	摘要
職務 執行者	佐藤 義一	M. 35. 11. 3	S. 42. 4. 1	S. 42. 4. 17	S. 42. 4. 1 市制施行
初代	〃	〃	S. 42. 4. 28	S. 50. 3. 29	
2	遠藤 東平	T. 5. 11. 7	S. 50. 4. 28	S. 53. 3. 10	
3	須藤 直一郎	M. 39. 11. 22	S. 53. 4. 16	S. 53. 6. 15	
4	新山 昌孝	T. 15. 6. 8	S. 53. 7. 30	S. 61. 7. 29	
5	大竹 俊博	S. 14. 12. 2	S. 61. 7. 30	H. 10. 7. 29	
6	荒井 幸昭	S. 15. 6. 23	H. 10. 7. 30	H. 18. 7. 29	
7	塩田 秀雄	S. 27. 12. 11	H. 18. 7. 30	H. 26. 7. 29	
8	白岩 孝夫	S. 44. 1. 29	H. 26. 7. 30	在職中	

## 3. 歴代助役（～H19. 3. 31）・副市長（H19. 4. 1～）

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	三浦 玄一	M. 44. 10. 15	S. 43. 11. 1	S. 51. 10. 31	
2	鈴木 繁次	T. 8. 3. 18	S. 53. 1. 1	S. 53. 2. 2	
3	村山 純一	T. 12. 11. 12	S. 53. 6. 1	S. 61. 5. 31	
4	滝澤 政	S. 3. 10. 11	S. 62. 6. 1	H. 7. 3. 31	
5	笹木 明夫	S. 9. 2. 8	H. 7. 4. 1	H. 9. 3. 31	
6	高山 和夫	S. 12. 3. 15	H. 9. 5. 1	H. 13. 4. 30	
7	大場 忠夫	S. 20. 11. 20	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	
8	柴田 誠	S. 20. 1. 29	H. 18. 10. 1	H. 22. 9. 30	
9	安達 正司	S. 27. 4. 2	H. 23. 4. 1	H. 26. 7. 29	
10	大沼 豊広	S. 30. 2. 3	H. 27. 1. 1	在職中	

## 4. 歴代収入役

代位	氏名	生年月日	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	近野 伊重	M. 40. 5. 13	S. 42. 7. 1	S. 46. 6. 30	
2	新山 清一	T. 4. 2. 15	S. 46. 10. 1	S. 50. 9. 30	
3	佐々木 富次郎	T. 7. 6. 11	S. 50. 10. 1	S. 54. 9. 30	
4	殿岡 広司	T. 12. 2. 8	S. 55. 4. 1	S. 61. 8. 31	
5	滝澤 政	S. 3. 10. 11	S. 61. 10. 1	S. 62. 5. 31	
6	竹田 光雄	S. 4. 7. 29	S. 62. 6. 1	H. 5. 3. 31	
7	笹木 明夫	S. 9. 2. 8	H. 5. 4. 1	H. 7. 3. 31	
8	後藤 武夫	S. 15. 8. 15	H. 7. 4. 1	H. 15. 3. 31	
9	齋藤 誠一	S. 19. 10. 31	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	

5. 平成27年度 議会費 (当初予算)

(単位：千円)

区 分(節)	平成27年度		平成26年度		比較 増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 報 酬	74,640	38.5	74,640	40.8	0	0.0
2 給 料	17,982	9.3	17,782	9.7	200	1.1
3 職員手当	34,267	17.7	32,395	17.7	1,872	5.8
4 共 済 費	52,991	27.4	44,738	24.5	8,253	18.4
8 報 償 費	129	0.1	86	0.0	43	50
9 旅 費	6,012	3.1	5,678	3.1	334	5.9
10 交 際 費	800	0.4	800	0.4	0	0.0
11 需 要 費	1,541	0.8	1,547	0.9	△ 6	△ 0.4
12 役 務 費	252	0.1	250	0.1	2	0.8
13 委 託 料	960	0.5	960	0.5	0	0.0
14 使用料及び賃借料	1,185	0.6	1,162	0.7	23	2.0
18 備品購入費	32	0.0	32	0.0	0	0.0
19 負担金補助 及び交付金	2,956	1.5	2,960	1.6	△4	0.1
27 公 課 費						
合 計	193,747	100.0	183,030	100.0	10,717	5.9

6. 平成27年度 一般会計（当初予算）

歳 入

（単位：千円）

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 市 税	3,368,734	24.9	3,375,824	25.4	△ 7,090	△ 0.2
2 地方譲与税	131,500	1.0	143,000	1.1	△ 11,500	△ 8.0
3 利子割交付金	6,500	0.0	7,900	0.0	△ 1,400	△ 17.7
4 配当割交付金	4,000	0.0	4,700	0.0	△ 700	△ 14.9
5 株式等譲渡所得割交付金	1,000	0.0	1,500	0.0	△ 500	△ 33.3
6 地方消費税交付金	442,000	3.3	320,000	2.4	122,000	38.1
7 自動車取得税交付金	15,000	0.1	15,000	0.1	0	0.0
8 地方特例交付金	13,000	0.1	14,000	0.1	△ 1,000	△ 7.1
9 地方交付税	4,290,000	31.7	4,483,000	33.8	△ 193,000	△ 4.3
10 交通安全対策特別交付金	6,000	0.0	6,200	0.0	△ 200	△ 3.2
11 分担金及び負担金	171,820	1.3	215,069	2.0	△ 43,249	△ 20.1
12 使用料及び手数料	126,320	0.9	101,607	0.7	24,713	24.3
13 国庫支出金	1,588,985	11.7	1,358,050	10.2	230,935	17.0
14 県支出金	1,030,288	7.6	1,093,483	8.2	△ 63,195	△ 5.8
15 財産収入	41,027	0.3	19,341	0.1	21,686	112.1
16 寄附金	22,362	0.2	17,003	0.1	5,359	31.5
17 繰入金	246,298	1.8	713,270	5.4	△ 466,972	△ 65.5
18 繰越金	220,000	1.6	200,000	1.5	20,000	10.0
19 諸収入	170,066	1.3	174,553	1.3	△ 4,487	△ 2.6
20 市債	1,645,100	12.2	1,006,500	7.6	638,600	63.4
合 計	13,540,000	100.0	13,270,000	100.0	270,000	2.0



## 歳 出

(単位:千円)

区 分	平成27年度		平成26年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 議 会 費	193,747	1.5	183,030	1.4	10,717	5.9
2 総 務 費	1,444,527	10.7	1,346,190	10.1	98,337	7.3
3 民 生 費	4,439,158	32.8	4,279,738	32.3	159,420	3.7
4 衛 生 費	786,946	5.8	781,101	5.9	5,845	0.7
5 労 働 費	55,722	0.4	56,681	0.4	△ 959	△ 1.7
6 農林水産業費	963,004	7.1	1,400,389	10.6	△ 437,385	△ 31.2
7 商 工 費	287,189	2.1	296,903	2.2	△ 9,714	△ 3.3
8 土 木 費	1,484,559	11.0	1,516,153	11.4	△ 31,594	△ 2.1
9 消 防 費	921,013	6.8	503,960	3.8	417,053	82.8
10 教 育 費	1,194,654	8.8	1,156,292	8.7	38,362	3.3
11 災害復旧費	163,816	1.2	35,400	0.3	128,416	362.8
12 公 債 費	1,585,657	11.7	1,694,155	12.8	△ 108,498	△ 6.4
13 諸 支 出 金	8	0.0	8	0.0	0	0.0
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	13,540,000	100.0	13,270,000	100.0	270,000	2.0

7. 平成27年度 各会計予算

(一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分		平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	比較増減	
				予算額	増減率(%)
一般会計		13,540,000	13,270,000	270,000	2.0
特別 会 計	国民健康保険特別会計	4,088,973	3,605,947	483,026	13.4
	財産区特別会計	96,563	102,077	△ 5,514	△ 5.4
	小滝簡易水道事業特別会計	33,797	38,464	△ 4,667	△ 12.1
	育英事業特別会計	5,964	5,964	0	0
	介護保険特別会計	3,069,108	3,036,295	32,813	1.1
	後期高齢者医療特別会計	319,373	320,759	△ 1,386	△ 0.4
	小 計	7,613,778	7,109,506	504,272	7.1
合 計		21,153,778	20,379,506	774,272	3.8

(企業会計)

(単位：千円)

区 分			平成27年度 当初予算額	平成26年度 当初予算額	比較増減	
					予算額	増減率(%)
水道事業	収益的収支	収入	847,439	849,578	△ 2,139	△ 0.3
		支出	809,544	803,698	5,846	0.7
	資本的収支	収入	51,657	51,657	0	0.0
		支出	292,613	288,987	3,626	8.1
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税 資本的収支調整額、建設改良積立金で補填						
下水道事業	収益的収支	収入	1,023,471	1,043,543	△ 20,072	△ 1.9
		支出	1,006,452	1,026,130	△ 19,678	△ 1.9
	資本的収支	収入	687,846	673,352	14,494	2.2
		支出	1,048,321	1,030,368	17,953	1.7
※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税 資本的収支調整額で補填						

8. 平成27年度 一般会計歳出予算（性質別予算）

（単位：千円）

区 分	平成27年度当初		平成26年度当初		比較増減 (A)-(B)
	予算額(A)	構成比 (%)	予算額(B)	構成比 (%)	
人件費	2,370,365	17.5	2,305,155	17.4	65,210
物件費	1,389,773	10.3	1,254,262	9.5	135,511
維持補修費	260,971	1.9	241,797	1.8	19,174
扶助費	2,643,956	19.5	2,536,931	19.1	107,025
補助費等	2,470,449	18.2	2,270,092	17.1	200,357
積立金	12,999	0.1	13,173	0.1	△ 174
投資及び出資金					
貸付金	104,000	0.8	111,000	0.8	△ 7,000
普通建設事業費	1,264,870	9.3	1,579,570	11.9	△ 314,700
災害復旧事業費	163,816	1.2	35,400	0.3	128,416
公債費	1,585,641	11.7	1,694,139	12.8	△ 108,498
繰出金	1,253,160	9.3	1,208,481	9.1	44,679
予備費	20,000	0.2	20,000	0.1	0
合 計	13,540,000	100.00	13,270,000	100.00	270,000
特定財源	4,357,135	32.2	3,494,355	26.3	862,780
一般財源	9,182,865	67.8	9,775,645	73.7	△ 592,780



